

一言文致  
小學作文書

尋常科用

第二

言文一致

此書ハカメテ言文ノ致ヲ期ス抑  
モ言文ヲシテ一致ナラシメントスレ  
バ文體ハ成ルベク言語ニ近キモノ  
ヲ取リ言語ハ成ルベク正レクシテ  
文章ニ近ケザルベカラズ故ニ本  
書ノ文體ハ流暢圓滑ニシテ  
言語ニ近キモノヲ取リ言語ハ文  
章ニ近クシテ最モ世間ニ通用  
廣キモノヲ選ベリ

K121.82  
30  
2

K121.82

30

2

學園會編纂

言文

一致 小學作文書

尋常科用 第二

東京

教育書屋藏版

言文 一致 小學作文書第二

凡例

一、本卷ハ尋常小學科第二學年ノ課程ニ照シ、簡易ナル漢字交リ文、及口上書類ヲ記載セシモノニテ、最初ノ記事文ハ第一卷ニ續キテ綴リ易キ談話體ヲ用ヒ、徐々ニ文章體ニ移セリ。

二、本卷第一課第二課ニ於テミミミミアルトコロヘハ漢字ヲ填メミミミミノ處ヘハ假名ヲ填メシムルナリ。其ノ他ミミミミアル處ヘハ總テ相當ノ語ヲ漢字或ハ假名ニテ記入セシムベシ。

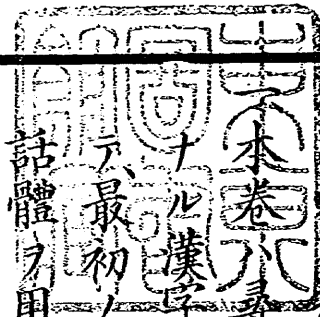
言文 小學作文書 第二卷

v. 235621 23

W23562/23

一致 小學作文書第二

凡例



本卷が尋常小學科第一學年ノ課程ニ照シ簡易ナル漢字交リ文及口上書類ヲ記載セシモノニテ最初ノ記事文ハ第一卷ニ續キテ綴リ易キ談話體ヲ用ヒ徐々ニ文章體ニ移セリ。

二 本卷第一課第二課ニ於テミミミミアルトコロハ漢字ヲ填メミミミミノ處ヘハ假名ヲ填メシムルナリ。其ノ他ミミミミアル處ヘハ總テ相當ノ語ヲ漢字或ハ假名ニテ記入セシムベシ。

言文ハ異用ノ書 第二卷

三、第七課ノ如キモノハ、言語ヲ文章ニ改ムルコトヲ教フルモノニテ、例式ニ示ス如ク、あかいはなトイヘル言語ヲ「赤き花トイヘル文章體ノ語ニ改メシムベシ。

練習題ノ言語ハ總テ文章體ノ語ニ改メシムベシ。

四、第十三課ハ庶物ノ構造ヲ文章體ニテ簡單ニ記サシムルモノニテ、先ヅ作例ヲ示シ、練習ニ舉ゲタル題ニ就キ、其物ノ構造ヲ問答シ、生徒ヲシテ明ニ言語ニ發セシメ、然ル後之ヲ記述セシムベシ。

シ。

五、第二十課ハ附與シタル句ヲ用ヒテ一ノ記事文ヲ綴ラシムルナリ。之ヲ綴ラシムルニハ先ツ附與シタル句ヲ讀ミ、且其ノ意義ヲ明ニセシメ、然ル後生徒ノ工夫ニテ、其ノ句ヲ連結セシムベシ。

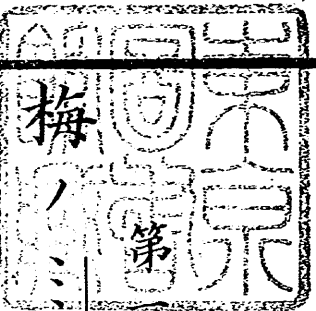
六、第三十課以下ハ總テ口上書ナリ。コハ書牘文ヲ教フルノ端緒ナレバ、初ハ簡單ニシテ學ビ易キ一文ヲ教へ、次ニ既知ノ句ニ一ニ二ノ未知語ヲ加へ、次第ニ歩ヲ進メテ、稍複合シタル口上書ヲ綴ラシムルニ至ル。

明治廿三年三月

學園會

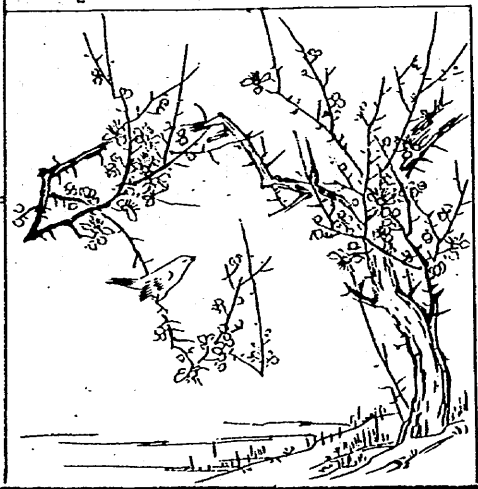
一級小學校作文書第二

學園會編纂



課 枝花鳥

梅ノミミ、ガサイテア  
リマス。ミミ、ノエニト  
リガミミ、井マス。  
コノトリハミミデアリス。



第二課 門松、日ノ丸、月

コノ日ハミニ月ミニ日デアリマス。ドコノ  
 イヘニモミニノミニノハタ  
 ミニ。  
 ムスメノコガミニノソ  
 バデミニチツキマス。  
 コノムスメノコハルツナ  
 ミニチキテ井マス。



第三課 學校、本手子

例。

コノフタリノ子ハドコヘユキマスカ。  
 コノ二人ノ子ハ學  
 校ヘユキマス。

練習。

- (一) 男ノ子ガ士ヲシマスカ。
- (二) 男ノ子ガ士ニヲサゲテ



井マスカ。

(三) 女メナノ子カナニヲモツテ井マスカ。

(四) 男ノ子ハナニヲカフツテ井マスカ。

第四課。

例。

(一) アナタノ名ハナニトマウシマスカ。

ワタクシノ名ハ太郎トマウシマス。

練習。

(一) アナタノ年ハイクツデアリマスカ。

(二) アナタノ家ハドコノナニバンヤシキデスカ。

(三) アナタハ朝アサナンジニオキマスカ。

(四) アナタハ朝アサハヤクオキテナニヲシマスカ。

(五) アナタハナンジニガクカウヘマ井リマスカ。

(六) アナタハガクカウデナニヲマナビマスカ。

(七) アナタハガクカウヨリカヘルトナニヲシマスカ。

(八) アナタハヨルナンジニヤスミマスカ。

第五課。(教師口唱シテ左ノ談話ヲ書取ラシムベシ)

桃太郎 ハチ、バ、ニキビ  
ダシゴヲ コシラヘテ モラヒ  
ソレヲ ベシタウニシテ、鬼ガ  
島ヘタカラ物ヲトリニ  
デカケマシタ。  
ソトキ犬ガ イチバンハ  
ヤクキテ、



犬 「桃太郎 サン、アナタノ ベシタウ ブクロニハ  
ナニガ アリマスカ。」

桃太郎 「ワタクシハ 日本第一ノ キビダシゴヲモツ  
テ 井マス。」

犬 「ワタクシニ ヒトツクダサイマシ、ワタクシハ  
オトモイタシマシヤウ。」

ソレニ 桃太郎ハ ベシタウ ブクロカラ キビダシ  
ゴヲ一ツトリダシテ、犬ニ ヤリマシタ。



ソノトキサルガキテ、犬トオナシコトヲイ  
 ヒマシテ、キビダシゴヲモラヒマシタ。ソコヘ  
 マタキシガトシデキテ。  
 キジ「ワタクシニモキビダシゴヲ一ツクダサイマ  
 シ、ワタクシモオトモイタシマシヤウ」  
 ソレデイヌトサルトキシジガ桃太郎  
 ノトモヲシテ、鬼が島ヘユキマシタ。

第六課 (教師口唱シテ猿蟹合戦話ヲ書取ラシムベシ)

(一)サルガニキリタシヲヒロツタ  
 コトカラ、カニニコロサレタマデ  
 ノハナシ。  
 (二)カニノコガウス、キ子、タゴ、  
 ハチニタケラル、マデノハナシ。  
 (三)カニノカタキウチノ、オブリ  
 マデノハナシ。



言文、學正、大書、第五

第七課。

例。

第一  
(言) アカイ ハナ。  
(文) 赤き 花。

第二  
(言) 才ホキナ カゼ。  
(文) 大まなる 風。

練習。

(一) シロイ カミ。

(二) タカイ ヤマ。

(三) ナガイ イト。

(四) フカイ カハ。

(五) キレイ ナ キモノ。

(六) アタ カナ テンキ。

(七) 才ホキナキ。

(八) 千イサイ エダ。

第八課。

例。

(言) ウマ ハ ハヤイ。

(文) 馬 は はやい。

練習。

- (一) ウシハオツイ。
- (二) イヌハオホキイ。
- (三) 子コハチイサイ。
- (四) ミヅハツメタイ。

第九課。

例。

(言)イ子ハタニツクルモノダ。

(文)稲は田に作るものなり。

練習。

- (一) 麥ムギ
- (二) セリ。
- (三) 大根ダイコン

第十課。

例。

アイノ色ハミミ。

アイノ色ハ青シ。

練習。

- (一) ベニノ色ハミミ。
- (二) カラスノ羽ハミミ。
- (三) エキノ色ハミミ。

- (四) フチノ花ハミイロナリ。
- (五) 菜ノ花ハ………。
- (六) ミミノ花ハ赤色……。
- (七) ミミノ花ハ黄色……。

第十一課。

例。

メハ十二ノヨウヲシマスカ。

目は物を見るものなり。

練習。

- (一) ミ、ハ十二ノヨウヲシマスカ。
- (二) クチハ十二ノヨウヲシマスカ。
- (三) ハナハ十二ノヨウヲシマスカ。
- (四) コノメハドシナデアリマスカ。
- (五) キジノヲハドシナデアリマスカ。
- (六) ツルノクビハドシナデアリマスカ。

第十二課。

例。

(言)カラハツチヲヤイテツクリヌ。

(文)瓦ハ土ヲヤキテ作ル。

練習。

(一)本。

(二)井。

(三)板。

(四)家。

(五)紙。

(六)トウフ。

第十三課。

例。

(言)ケサアメガフリマシタ。

(文)今朝雨フリタリ。

練習。

(一)キノフオホキナカセガフキマシタ。

(二)ワタクシハケサトモダチノイヘニユキマシタ。

(三)ワタクシハキノフホシヲワスレマシタ。

(四)サダクシハキノフツリニユキマシタ。

(五)ワタクシハケササシツヲマナヒマシタ。

第十四課。

例。

(言)ミヤウニチ テシキガヨカヌウ。  
(文)明日ハ 天氣ヨカラシ。

練習。

- (一)ワタクシハ ホンヲヨマウ。
- (二)アメハ コシヤツヨクフネウ。
- (三)コシヤハ ユキガツモラウ。

- (四)ワタクシハ コシヤハヤクヤスマウ。
- (五)ワタクシハ アスハヤクガクカウヘ ユカウ。

第十五課。

例。

(言)コノイケノナカニチサイフ子ガアリス。  
(文)コノ池ノ中ニ小サキ舟アリ。

練習。

- (一)コノツクエノ上ニウツクシイホンガ

アリマス。

(二) アノヒロイニハニオホクノハナガ

アリマス。

(三) コノヤマニハオホキナキガアリマス

(四) アソコノオホキナカハニナガイハシガ

アリマス。

第十六課。

例。

(言) スズリハイシデコシラヘスミヲスルモノダ。

(文) 硯ハ石ニテ作り、墨ヲスルモノナリ。

練習。

(一) 硯箱スズリバコ。

(二) 机ツク。

(三) クツ。

(四) ゲタイ。

第十七課。

タビコ入ハ皮マダ紙ニテ作り、タビコヲ  
入ル、モノナリ。

練習。

- (一) キンチヤク。
- (二) ヒバチ。
- (三) キセル。

第十八課

例。

(言) イシハカタクテ、オモイ。

(文) 石はかたくして、重し。

練習。

- (一) ハ子ハヤハラカデ、カロイ。
- (二) ガラスハナメラカデ、カタイ。

(三) ワタハヤハラカデ、アタ、カイ。

(四) コホリハナメラカデ、ツメタイ。

(五) ツルハオホキナトリデ、クビガナガイ。

(六) アハハキイロデ、コマカダ。

(七) カナリヤハコトリデ、ヨクサヘツリマス。

第十九課

例。

火ハアツク、水ハ……。



火ハアツク、水ハツメタシ。

練習。

- (一) ミミハオモク、羽ハニニニ。
- (二) 鳥ハニニニ、サキハ白シ。
- (三) 本ハアツク、紙ハニニニ。
- (四) 山ハニニニ、家ハヒクシ。
- (五) 犬ハニニニ、馬ハ大キナリ。
- (六) ミキハフトクシテ、枝ハニニニ。

第二十課。

例。

鶯ハヨクサヅル。人ニ愛セラル。  
鶯ハヨクサヅル。故ニ人ニ愛セラル。

練習。

- (一) 櫻ノ花ハモトモウツクシ。愛セラル。
- (二) 太郎ハヨク勉強ス。賢シ。
- (三) 次郎ハオモタル。愚。

第二十一課。

例。

(言) ナシハアキミルクダモノデソノアチガアマイ。  
(文) 梨ハ秋ジクスル菓ニシテ其ノ味甘シ。

練習。

(一) 柿<sup>カキ</sup>。

(二) 栗<sup>クリ</sup>。

(三) ミカン。

(四) ブドウ。

(五) リンゴ。

第二十二課。

例。

(言) ハルハアタカデ、ナツハアツイ。  
(文) 春ハアタカニシテ、夏ハアツイ。

練習。

(一) アキハスビシクテ、フユハサムイ。

(二) スミノイロハクダテ、シエノイロハアカイ。

(三) サナウハアマクテ、名ウガラシハカラシイ。

(四) 子コハチイサクテ、ウマハオホキイ。

(五)ニキハフトクテ、冬ハホソイ。

第二十三課。

例。

春ハアタ、カニシテ、ミヒラク。  
春ハアタ、カニシテ、花ヒラク。

練習。

- (一)夏ハミミ、草木ミミ。
- (二)秋ハミミ、多毛ミミ。

(三)冬ハミミ、水ノ葉ミミ。

(四)雨フバミミ、水ヌ。

(五)霜ミミ、水ノミミオツ。

第二十四課。

例。

衣服ハ水綿、絹、麻等ニテ作り、カダ  
ニキルモノナリ。

練習。

- (一) 家。
- (二) 倉。

第二十五課。

例。

(言) トリガ マダ ナカナイ。

(文) 鳥 いまだ なかず。

練習

(一) ハナガ マダ サカナイ。 (二) ヒガ マダ クレナイ。

(三) ヨガ マダ アケナイ。 (四) タモノガ マダ ジユク

サナイ。 (五) アメガ マダ フライ。

第二十六課。

例。

(言) コノ コハ ウマニ ノラウト シマス。

(文) この 子は 馬に のらん ぞす。

練習。

(一) タラウ ハ フ子ニ ノラウト シマス。

(二) ジラウ ハ 名シ ヲ クハウト シマス。

(三) コノ子コハクラニイリテ、子ズミヲ  
トスウトシマス。

(四) アノサルハキニノボリテ、クダモノヲ  
トスウトシマス。

(五) アノムスメハシヨモツヲモチテ、ガクカウ  
ニユカウトシマス。

(六) コノ子ハゴホバデ、ブラシコニノスウ  
トシマス。

第二十七課。

例。

(言) イヌハイヘヲマモルタメニヤシナハレマス。

(文) 犬は家をまもるために養  
はる。

練習。

(一) ウマハニヲニカフタメニヤシナハレマス。

(二) ウシハタヲタガヤスタメニヤシナハレマス。

- (三) ヒツジハケヲアタフルタメニヤシナレマス。
- (四) ダイコントカブラハ子トハヲクハレマス。
- (五) ナトセリハハヲクハレマス。
- (六) ニトリハタマゴトニラヲトルタメニヤシナレマス。

第二十八課

例。

(言) キヌイトハマユカラセイシテ、キヌヲヲルニモ子ヒ

ラレマス。

(文) 絹糸はまゆよりせい、絹ををるに用ひらる。

練習。

(一) 麻

(二) 木綿糸

第二十九課

例

(雞)

家ニカフ。

卵ヲウム。

雞ハ家ニカフ鳥ニシテ、ヨク卵ヲ  
ウム。

練習。

- 一。(牛) ツヨキ 獸<sup>ケモノ</sup> 田ヲタカヤス。
- 二。(馬) 人ヲ乗ス。 スミヤカニ走ル。
- 三。(犬) カシコキ 獸。 家ヲマモル。
- 四。(狐) ワルガシコキ 獸。 雞ヲトル。

第三十課。

例。

(言) コノ シヨモツ シンジヤウ イタシマス。  
 (文) 此書物 進上いたし。

練習。

次<sup>ツギ</sup>ノ 話<sup>ワタシ</sup>ヲ 文<sup>ブン</sup>ニ アラタメヨ。

- (一) コノ アダギトゴ シンジヤウ イタシマス。
- (二) ナシトカゴ シンジヤウ イタシマス。
- (三) コノ 繪紙<sup>エガミ</sup> オトウト サマニ シンジヤウ イタシマス。

次ノ手紙文ヲカケ。

(四) 筆ヲオクル文ヲカケ。

(五) オモキヤヲオクル文ヲカケ。

第三十一課。

例。

(言) ケコウナクシアリガタウゾンジマス。

(文) けつこうなる菓子有りかた  
く存じゆ。

練習。

次ノ話ヲ文ニアラタメヨ。

(一) ケコウナアフギ、アリガタウゾンジマス。

(二) オモキヤアガミヲイタキマシテ、アリガタウ  
ゾンジマス。

(三) ウツクシイウメノ子ヲイタキマシテ、アリ  
ガタウゾンジマス。

次ノ手紙文ヲカケ。



(四) 人形ヲモラッタオレイノ文。  
(五) 繪草紙ヲモラッタオレイノ文。

第三十二課

例。

(言) キミノエホシオカリマウシタイ。

(文) 君の繪本お借致し度御

練習。

次ノ話ヲ文ニアラタメヨ。

(一) キミノタケウマ、香ヲトオカリマウシタイ。  
(二) キミノセキバンニサンニ手ノアヒダ、オカリ  
マウシタイ。

次ノ手紙文ヲカケ。

(三) 讀本ヲカリニヤル文。

(四) タコヲカリニヤル文。

第三十三課

例。

(言) オカリ マウシタ ドクホシ オカシ マウシマス。  
(文) 折借の讀本 返してやる。

練習。

次ノ話ヲ文ニアラタメヨ。

- (一) オカリ マウシタカラカサ オカヘシ マウシマス。
- (二) サクヤ オカリ マウシタ チヤウキン オカヘシ マウシマス。

次ノ手紙文ヲカケ。

- (三) カリタル セキバンヲカヘス文。
- (四) カリタル シブジホシヲカヘス文。

第三十四課。

例。

(言) ミヤウニテ テシキガヨケレバ ハナニ マ井リタイ。  
(文) 明日 天氣 よろしくいし 花見  
にまわり 度い。

練習。

次ノ話ヲ文ニアラタメヨ。

(一) エヤウニテ テシキガヨケレバニミミマテ、サンホ  
ニマ井リタイ。

(二) コシニテ キミガオヒマナラバ、タマナゲヲ  
イタシタイ。

次ノ手紙文ヲカケ。

(三) キノユトリニユキタイトイフ文。

(四) クサツミニユキタイトイフ文。

第三十五課。

例。

(言) オモシロイ アソビガアリヌカラス オイテクダシイ。

(文) ねもゝろき遊これありの閑御

出下され度ゆ。

練習。

次ノ話ヲ文ニアラタメヨ。

(一) 明晩花火がありますからねいでくだ

さいま。

(二) 今日の次郎のたんやう日でありますから、おいでくださいませ。

(三) 明日はお祭ですから、おいでくださいませ。

(四) 只今かるた遊をはじめましたから、おいでくださいませ。

(五) 鈴木君がたまちまうしてをりますから、ちよつとおいでくださいませ。

次ノ手紙文ヲカケ。

(六) 年忌にともだちをよぶ文。

(七) 夜學にともだちをまねく文。

第三十六課。

例。

(言) センジツオアゲマシタドクホシオカシクダサイ。

(文) 先日差上の讀本を返して下

さるべくい。

練習。

次ノ話ヲ文ニアラタメヨ。

(一)先日さしあげました繪本此者へおかへ  
してください。

(二)先日あげておきました竹馬至急お  
かへしてください。

次ノ手紙文ヲカケ。

(三)かゝる尺モリサシをさいりくする文。

(四)かゝる羽子板ハコイタをさいりくする文

一致、小學作文書第二終。

明治廿三年五月三日印刷  
全 年五月五日出版

定價九錢

版權登錄

編纂

學園會

東京市神田區表神保町十番地

東京市神田區佐久間町二丁目十八番地

發行者

森本芳之助

版權所有

東京市日本橋區新大坂町十番地

發兌兼  
印刷者

小林喜右衛門

